

平成30年11月30日(金)
国土交通省 関東地方整備局
河 川 部

記者発表資料

ミズベ(地域)活性化の始め方 ミズベリング勉強会(4)の開催

国土交通省では、水辺の可能性を創造する「ミズベリング・プロジェクト」や河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す「かわまちづくり」に取り組んでいます。

また、資源としての河川利用の高度化や公民が連携して河川空間を利用することで、地域の経済活動・社会活動の生産性を向上させる「河川のオープン化」も方策としております。

重要で難しいテーマの地域活性化。何から始めればよいのか？どんな制度が使えるのか？多様な制度を駆使するためには、どのようなアプローチがあるのか？

多様なテーマを網羅する「地域活性化企画研修」の紹介と、ミズベ活用事例も踏まえた勉強会を開催します。

日時：平成30年12月21日(金)13:15～17:15

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館5階共用会議室5B

主催：国土交通省関東地方整備局

対象者：地方公共団体(都県市区町村)、国土交通省、独立行政法人

参加費：無料(先着60名)

申し込み方法：別紙1(提出平成30年12月19日まで)

報道関係者：別紙1にて申し込みください。

関東のミズベリング・プロジェクト

<http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/index00000007.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、都庁記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、
刀水クラブ・テレビ記者会、千葉県政記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 河川部河川環境課

課長 吉川 宏治(よしかわ こうじ) (代表)048-601-3151(内線3651)

課長補佐 黒沼 尚史(くろぬま ひさし) (代表)048-601-3151(内線3656)

送付先

国土交通省関東地方整備局河川環境課 黒沼・福元宛

メール：ktr-kasenkankyou@mlit.go.jp

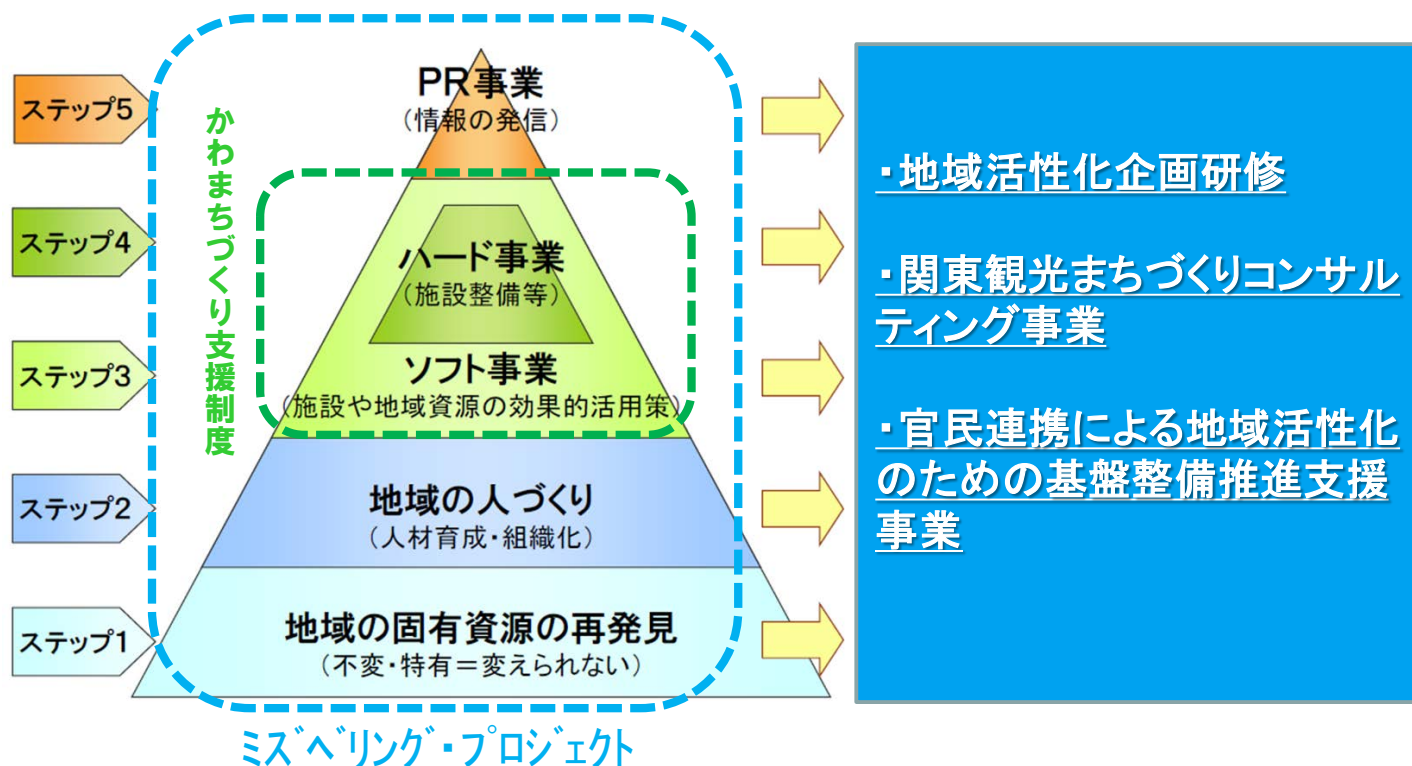
FAX: 048-600-1379

※申し込み期限：平成30年12月19日（月）先着60名

企業名・学校名	
申込者氏名	
担当者連絡先電話	
連絡用 メールアドレス	

※メールの場合は、本文にベタ打ちで構いません。

観光まちづくり5つの要素



ミズベリング勉強会(4)

日時：平成30年12月21日(金) 13:15~17:15

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館5階共用会議室5B

主催：国土交通省関東地方整備局

対象者：地方公共団体(都県市区町村)、国土交通省、独立行政法人

プログラム

1. 勉強会趣旨説明

かわまちづくりは、まちから。ミズベリングは人から。

【関東地方整備局河川環境課課長補佐 黒沼 尚史】

2. 地域活性化企画研修

公務員の地域活性化の実践

【関東地方整備局河川部 部長 佐藤 寿延】

3. 関東観光まちづくりコンサルティング事業

【日本旅行業協会(JATA) 関東支部事務局長 渡辺 泰】

4. 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業

民間活動に合わせた自治体の事業化検討を機動的に支援します

【国土交通省国土政策局広域地方政策課調整室専門調査官 小池 昌義】

5. 石和温泉地域における地域活性化に関する調査

【山梨県笛吹市】

6. 笛吹市かわまちづくり計画の取り組み状況

笛吹市ミズベリング構想の実現状況他

【山梨県笛吹市】

7. 意見交換

※参加者へ事前に登壇をお願いする場合があります。

講演者と勉強会参加者

かわまちづくり支援制度

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo04_hh_000015.html

「かわまちづくり」支援制度実施要綱の改定について ～水辺の賑わいによる地域活性化のために民間事業者の方々の知恵・ノウハウ・アイデアを積極的に活かします～

「かわまちづくり」とは、地域活性化のために景観、歴史、文化及び観光基盤などの地域が持つ「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村及び地元住民と河川管理者の連携の下、「河川空間」と「まち空間」が融合した良好な空間形成を目指す取り組みです。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo02_hh_000013.html

民間企業等の河川敷地占用許可期間の延長 ～民間企業等への河川空間の開放を促進します～

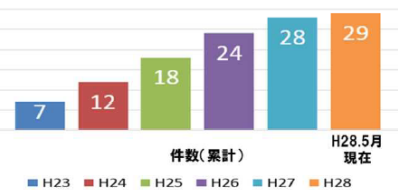
国土交通省では河川敷地の占用許可制度の特例を改正し、民間企業等による占用許可期間を「3年以内」から「10年以内」と延長することとしました。（平成28年6月2日施行）

これにより、事業をより安定的に経営していくことが可能となり、民間企業等による河川敷地の利用が促進され、水辺のにぎわいづくりが一層進む効果が期待されます。

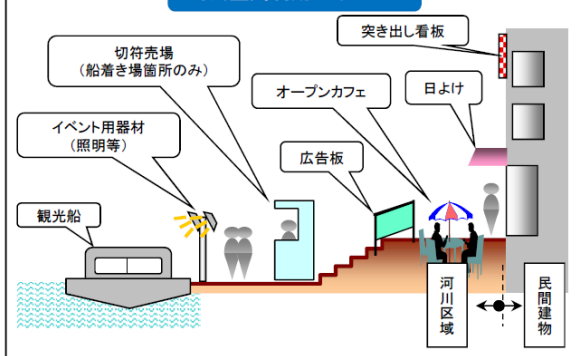
特例が適用される一定の要件

- 特例を活用する区域、占用施設、占用主体について地域の合意が図られていること。
- 通常の占用許可でも満たすべき基準に該当すること。（治水上及び利水上の支障がないこと等）
- 都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資すること。

河川空間のオープン化の特例の活用実績数



河川空間利用のイメージ



河川空間のオープン化の事例

オープンカフェ(広島市・京橋川)



バーベキュー広場(埼玉県・都幾川)



民間事業者等が河川敷地にオープンカフェやバーベキュー場等を設置することが可能に。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo05_hh_000042.html

河川防災ステーションを新たな賑わいの場に
～市町村等と連携して平常時の利活用を推進～

国土交通省では、市町村等と河川管理者の連携を強化し、地域の防災力の強化や水防災意識の向上を図るため、要綱を改正し、河川防災ステーションにおける平常時の賑わいづくりを一層推進することとしております。

■現況写真



道の駅「富士川」



■活用状況の写真



写真①シクロクロス大会



写真③絶景ウォーク大会



写真⑤ヘリポート利用状況※(ドクターヘリ)



写真②グラウンドゴルフ大会



写真④親子たこ作り体験

※平成27年6月～平成28年3月
ドクターヘリ搬送実績
10件(重傷8名,軽傷2名)

「かわまちづくり」支援制度実施要綱

<http://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyou/machizukuri/>

目的

河川とそれに繋がるまちを活性化するため、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指すことを目的とする。



まちづくりの計画に河川利用を含めてお考えください。



第5 登録要件

支援制度の登録を受けることができる要件は、「かわまちづくり計画」の対象となる河川が次の各号のいずれかに該当するものとする。

1. 歴史的風致維持向上計画や観光圏整備実施計画など国による認定が個別法で規定されており、まちづくりと一体的に良好な河川空間を整備し、その利活用を図る必要がある河川
2. 都市再生整備計画や地方再生計画など国による認定が個別法で規定されており、地域活性化や地域振興に関する計画等において、まちづくりと一体的に良好な河川空間を整備し、その利活用を図る必要がある河川
3. 中心市街地活性化、国家戦略特区、地方創生特区及び環境モデル都市など国として積極的に支援している地域活性化施策に関連して良好な河川空間を整備し、その利活用を図る必要がある河川
4. 推進主体が河川空間と一体となったまちづくりを行うために自らが整備を計画し、良好な河川空間形成のための諸活動を行っている等、推進主体の熱意が特に高く、河川空間を整備し、その利活用を図る必要がある河川

平成 30 年 3 月

国土交通大学校

地域活性化企画研修の研修員を募集します！

～稼げる地域とは・・・地域を元気にする処方箋の作り方を習得～

この研修では、過疎化・高齢化・人口減少に悩んでいる地域での「コンパクトシティ＋ネットワーク」等、活性化事例を学べます。

ミズベリングや道の駅(道路空間)、今、そこにある河川や道路等の施設を活かした方策など、「行政にしかできない」施策や、それに必要な合意形成のプロセスマネジメント、やってみたくなる事例も学べます。

また、ポストイットノートエクササイズや交渉ゲームといった、実践的なコミュニケーションの演習も行います。

■研修内容

- ① 地域活性化の推進に必要な企画力、調整能力・課題解決能力の向上
- ② 地域づくりの具体例に関する講義・演習・現場実習

■対象者（定員 30 名）

国土交通省、他府省、都道府県、政令指定都市、特別区、市町村、独立行政法人等の技術系・事務系職員で、地域活性化企画に関する業務を担当する方（地方整備局の場合：本局課長補佐・建設専門官、事務所課長と同等クラス）。

- ① 地方整備局の課長補佐、建設専門官、係長又はこれと同等の職にあると認められる者
- ② 事務所の課長、建設監督官、用地官、係長又はこれと同等の職にあると認められる者
- ③ ①と②の者と同程度の能力を有すると認められる者

■研修期間・場所・経費

期間：平成 30 年 7 月 18 日(水)～26 日(木) 9 日間

場所：国土交通大学校 小平本校

〒187-8520 東京都小平市喜平町 2-2-1

経費：食費 1,550 円/日 寮費 1,210 円/日

テキスト代等（予定） 15,000 円（いずれも税込）

■募集期間

平成 30 年 5 月 31 日(木)まで

首長や各分野の第一人者によるインタラクティブな講義(コミュニケーション演習)



地域での魅力づくり(現場実習)



なお、詳細につきましては、国土交通大学校のホームページ (<http://www.col.mlit.go.jp/>) の【現在募集中のコース（本校）】もご覧ください。

平成 29 年度研修参加者の声（概要）

- タレント級の講師や地域づくりを実践している超一流の講師を集められるのは国土交通大学校にしかできないので大変満足。(町職員)
- 地元の魅力を判っていたつもりでしか無かった事を再認識させられた。その上で、基礎からリアルな具体例までを著名な講師から学べた。(国職員)
- 国の職員、他県や市町職員と深く議論でき、立場も組織も違う人との出会いは良い刺激であり、今後も交流していきたい。(県職員)

問い合わせ先：国土交通大学校 建設部
建設技術研修分析官 久保田
教官 鬼頭

TEL 042-321-0645

FAX 042-321-8088

Mail col-kensetsu@ml.mlit.go.jp



国土交通省

国土交通大学校

College of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成30年度 専門課程 地域活性化企画研修
教科目一覧（案）

区分			教 科 目	講 師 の 所 属 ・ 氏 名	時 間	備 考
				平成30年度	H30	
基本科目	施策	1	国土交通省における地域活性化施策について	国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 事業総括調整官 鈴木 学	1.0	国土交通省の地域活性化施策を安全・安心を踏まえて
		2	今後の地域づくりについて	東京大学大学院工学系研究科 准教授 城所 哲夫	1.0	グローバル化時代の地域の競争力とは何か、国土構造の変容も踏まえた地域づくりの進め方
	基礎	3	日本を取り巻く課題と地域活性化の方向性	日本総合研究所 調査部 主席研究員 藻谷 浩介	1.5	人口減少や過疎化、高齢化など日本を取り巻く近年の課題を総覧し、今後地域が活性化していくための方向性について
		4	都市・交通整備と地域づくり	東京理科大学 理工学部 教授 寺部 慎太郎	1.5	地域活性化をする上で必要となる都市交通整備について
	小 計				5.0	
専門科目	観光と振興	5	観光・地域活性化と交通計画・マネジメント	首都大学東京 都市環境学部 教授 清水 哲夫	1.5	観光・地域活性化に必要な交通システム整備・運用の要件と交通計画・マネジメントのあり方
		6	社会インフラを活用した観光まちづくりの進め方	跡見学園女子大学 マネジメント学部 観光マネジメント学科 准教授 篠原 靖	1.5	社会インフラをベースに地域を巻き込んだ観光まちづくりと次世代の地方創生について
		7	魅力を高める地域づくり	東京大学 アジア生物資源環境研究センター 教授 堀 繁	4.0	地域の魅力を高めるための方策について
	持続的な協働	8	地域の資源を効果的に発信するための手法	(株)地域活性プランニング 代表取締役 藤崎 慎一	2.0	ロケツーリズムとご当地グルメによる住民主体の地域活性～よそ者、わか者、ばか者に代表される人づくり～
		9	地域づくりNPOの創業と後継	特定非営利活動法人 フュージョン長池 会長 富永 一夫	1.5	八王子市東部地域(旧由木村)でのNPOの活動状況
		10	創造的過疎から考える地方創生	特定非営利活動法人 グリーンバレー 理事長 大南 信也	1.5	クリエイティブな人材移住、ITベンチャーのサテライトオフィス誘致など新しい地域づくりについて
小 計				12.0		
関連科目	合意形成	11	地域の相互理解について	東京工業大学大学院 社会理工学研究科 教授 桑子 敏雄	1.5	地域の魅力を理解しあえるための合意形成のあり方について
		12	コミュニケーションの理論と実践	オフィス キュア 代表 篠田 さやか	3.0	コミュニケーションの技術を演習を含めて学ぶ
	活性化事例	13	茂木町の町づくりと地方創生	栃木県 茂木町 町長 古口 達也	1.0	人口減少により消滅自治体と名指しされた、小さな過疎の町の「6K1T」による町づくりと地方創生への挑戦
		14	水辺整備を活かした景観まちづくり事例	法政大学 大学院 政策創造研究科 教授 上山 肇	1.5	東京都江戸川区のような都市部における河川を用いた活性化の事例
		15	コンパクトなまちづくりの取り組み事例	富山県 富山市 都市整備部 部長 高森 長仁	1.5	富山市におけるコンパクトなまちづくりの事例を都市整備の観点から説明
	小 計				8.5	
課題研究	討議	16	事前説明	国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 交流連携事業調整官 安原 達	1.0	
		17	班別討議	建設部	7.5	
		18	全体討議	跡見学園女子大学 マネジメント学部 観光マネジメント学科 准教授 篠原 靖 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 交流連携事業調整官 安原 達	3.0	
	小 計				11.5	
現場実習	19	現場実習	東京大学 アジア生物資源環境研究センター 教授 堀 繁	7.0	横浜・元町商店街にみる中心市街地の魅力づくり(予定)	
	小 計				7.0	
その他	20	入校式・修了式等	教務課／建設部	2.5		
	小 計				2.5	
合 計					46.5	

(敬称略)

関東観光まちづくりコンサルティング事業

観光による交流人口の拡大は観光立国を目指す政府が掲げる地方創生のための大きな柱であることから、今まで観光施策を行ってこなかった自治体も観光を旗印として積極的に動き出してはいるが、具体的にどのような手法で進めれば良いのか、悩みながら模索しているのが現状である。

関東観光まちづくりコンサルティング事業では、地域の多様な関係者（行政・団体・民間・NPO等）が協働・連携しながら、新たな時代の「観光による地域づくり」への具体的な取組みの検討を行い、各分野の専門家を派遣し観光を通じた地域の活性化を支援する。そして段階的に観光DMOの組織化が実現できるように様々な角度からアドバイスを行うことを目的とする。

※DMO「Destination Marketing/Management Organization」とは、マーケティングに基づく観光戦略の策定・推進や、地域内の幅広い関係者との合意形成など、観光事業のマネジメントを担う機能を有する組織である。

事業内容

①観光振興の専門家を派遣し「観光まちづくりアドバイザリー会議」を開催

②地域に対する各種事業の実施

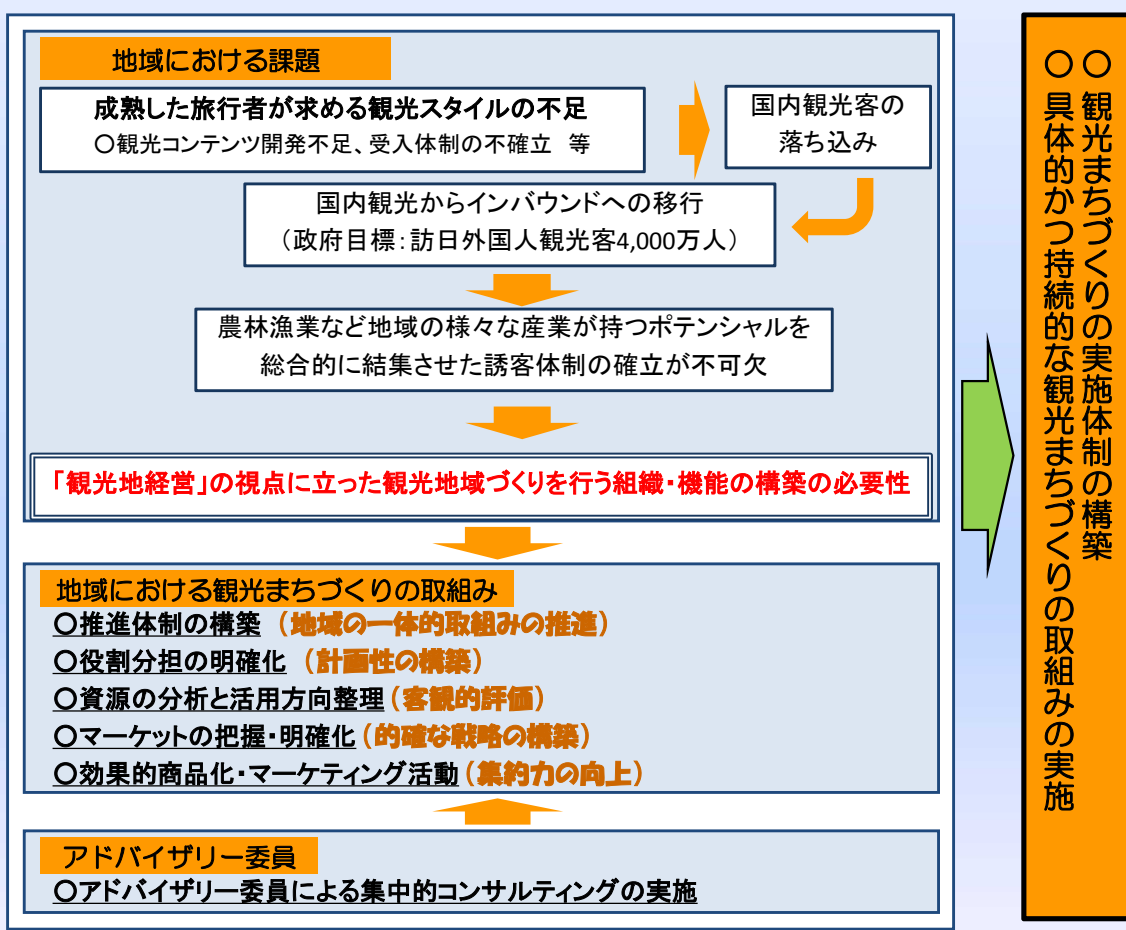
- ・地域の要請に応じたアドバイザリー会議委員による助言。
- ・日本版DMO候補法人の登録に向けた組織体制の構築支援。
- ・観光資源の発掘や磨き上げを行いながら、企画旅行商品の造成も含め、魅力ある観光地域づくりに向けた集中的なコンサルティングの実施を図る。

「関東観光まちづくりアドバイザリー会議」委員名簿

H29.5.19 現在

篠原 靖	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 観光デザイン学科 准教授【座長】
政所 利子	（株）玄 代表取締役
池田 伸之	（株）ジェイティビー グループ本社国内事業本部 法人事業部 観光戦略担当部長
大串 誠一	（株）日本旅行 関東仕入・誘客推進センター所長
重村 龍也	近畿日本ツーリスト（株） 営業統括本部 地域誘客交流事業部 課長
望月 康紀	東武トップツアーズ（株） 企画仕入本部 事業企画部 副部長
渡辺 泰	（一社）日本旅行業協会 関東事務局 事務局長
若井 茂	（一社）全国旅行業協会 事務局長
高井 晴彦	（公社）日本観光振興協会 観光地域づくり部長
大野 昌仁	国土交通省 関東地方整備局 企画部長
日置 滋	国土交通省 関東運輸局 観光部長

まちづくりコンサルティング事業による取組み



(参考)過去のコンサルティング事業実施地域

平成18

○日光市 ○館山市・南房総市

※各地域のフォローアップは随時実施

平成19

○湯河原町 ○富士吉田市

平成20

○常陸太田市 ○桐生市・みどり市

平成21

○山梨市

平成22

○成田市 ○石岡市

平成24

○長瀬町 ○小田原市

平成27

○富士河口湖町・富士宮市

平成28

○真鶴町

平成29

○栃木市

官民連携基盤整備推進調査費のご案内

－ 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業－

■ 調査費の概要

1. 民間活動に合わせた自治体の基盤整備検討の機動的な支援です！

- 民間事業活動と一体的に実施する基盤整備の事業化検討について、地方公共団体に対して、調査費補助を行っています。（補助率1／2）

2. 基盤整備の事業化検討が実施可能です！

- 国土交通省所管（道路、港湾、河川、公園、駅前広場等）の社会資本整備事業の事業化を検討するための調査を実施できます。

（例）基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等

3. 事業化検討と合わせてPPP/PFI導入検討も実施可能です！

- 基盤整備の事業化検討と合わせて、PPP/PFI導入可能性検討や具体的事業手法の選定などの調査も実施できます。

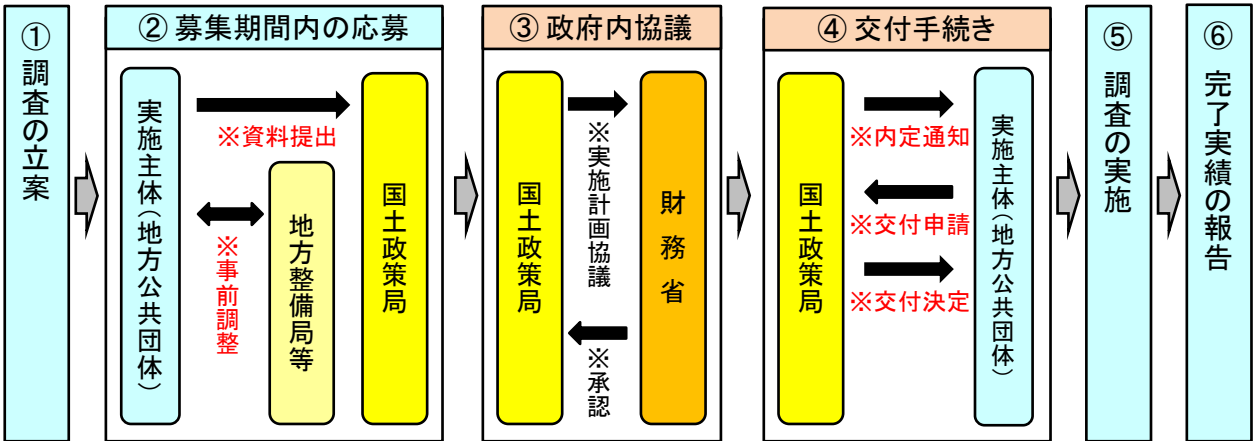
（例）PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFMの算定等

募集・配分スケジュール

年3回の募集を予定しています。

区 分	募集期間	配分時期
第1回	1月22日～2月16日	4月19日
第2回	2月26日～4月13日	6月28日
第3回	6月11日～7月6日	9月6日

募集から調査実施までの流れ



お問い合わせ窓口

（本省担当）

国土交通省 国土政策局 広域地方政策課 調整室（官民連携基盤整備推進調査費 担当）

〒100-8918 東京都千代田区霞が関2丁目1番2号 中央合同庁舎2号館12階

TEL:03-5253-8360(直通) FAX:03-5253-1572

（各地方支分部局）

	部署名	外線(内線)
北海道開発局	開発監理部 開発計画課 開発企画官、地域連携専門官	011-709-2311(内 5462, 5467)
東北地方整備局	企画部 環境調整官、企画課	022-225-2171(内 3114, 3156, 3236)
関東地方整備局	企画部 事業調整官、企画課	048-601-3151(内 3116, 3153, 3181)
北陸地方整備局	企画部 事業調整官、広域計画課	025-280-8880(内 3116, 3211)
中部地方整備局	企画部 事業調整官、広域計画課	052-953-8129(内 3116, 3211, 3212, 3221)
近畿地方整備局	企画部 事業調整官、企画課	06-6942-1141(内 3116, 3156)
中国地方整備局	企画部 事業調整官、広域計画課	082-221-9231(内 3116, 3221)
四国地方整備局	企画部 事業調整官、広域計画課	087-851-8061(内 3116, 3211, 3212, 3231)
九州地方整備局	企画部 企画課	092-471-6331(内 3181, 3182)
沖縄総合事務局	開発建設部 建設行政課	098-866-0031(内 3166)

国土交通省ホームページに詳しい情報を掲載しています。調査計画書の様式等をダウンロードできます。

（ホーム <http://www.mlit.go.jp/> >> 政策・仕事 >> 国土政策 >> 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業）

<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>

笛吹市の紹介

<http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/shisei/profile.php>

笛吹市の人口及び世帯数

人口 69,764人(男 33,887人 女 35,877人)世帯 29,327世帯※H30.10月末現在※外国人登録を含む



温泉と季節を彩る祭りイベント

全国屈指の温泉郷である石和温泉、春日居温泉は、山梨県の観光宿泊拠点として四季を通じて多くの観光客を迎え入れており、近津用水のせせらぎや桜並木が続く温泉街・恵まれた温泉資源を活用した公営温泉施設や足湯広場は、市民や観光客の癒しの場、憩いの場として親しまれています。

また、春の「桃の花まつり」、「桃の花マラソン大会」、「すずらの里祭り」、「笈形焼き」、夏の「大文字焼き」、「笛吹川石和鵜飼」、「石和温泉花火大会」、秋の「川中島戦国合戦絵巻」など、季節を彩る祭り・イベントが毎年行われ、多くの人々が訪れています。

笛吹市ミズベリング構想

http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/shisei/info.php?cat_id=124

笛吹市かわまちづくり計画登録

【開催状況】ミズベリング笛吹市会議(H27.3.7)

http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000621840.pdf



【報道番組】YBSワイドニュース 特集「ミズベリング」平成27年5月12日放送

http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000622693.pdf



大学生観光まちづくりコンテスト2015 山梨ステージ(H27.9.12)

http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000631700.pdf

ミズベリングと連動した富士川水系流域の「観光まちづくりプラン」



～水辺で乾杯～ Winter Version

http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000643456.pdf



ミズベリングもてなし勉強会in笛吹市(H28.2.23)

http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000640795.pdf

ホスピタリティ・ディベロップメント

楽しい体験を生むのは、「歩いてみたい道」「のぞいてみたいお店」「ゆったりくつろげる休憩スペース」等です。つまりは、「私のことを、とても大事にもてなしてくれる」という雰囲気、それがホスピタリティ表現ということなんです。

【開催状況】大学生観光まちづくりコンテスト2016山梨ステージ成果発表会(H28.9.10)

http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000662080.pdf



第2回 ミズベリング笛吹会議(H28.12.16)http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000662082.pdf

石和温泉地域における地域活性化に関する調査

○（調査の背景・目的）

石和温泉は鉄道や高速道路など首都圏からのアクセス性もよく、団体向けの温泉観光地として発展してきたが経済情勢の変化や観光客のニーズの多様化などもあり、全国的に温泉観光地の宿泊客数の減少がみられるようになり、石和・春日居温泉地域においてもかつての賑わいや活気が失われつつある。こうした背景を踏まえ、本調査は民間事業者の施設整備と連携した笛吹市石和温泉地域の活性化実現に向け、観光客（外国人含む）及び市民等のニーズや現地状況について調査を行い、この結果を基にマーケティング施策、整備効果検討のほか、アクセス道路・公園整備概略検討（基盤整備）を行ったものである。

調査結果

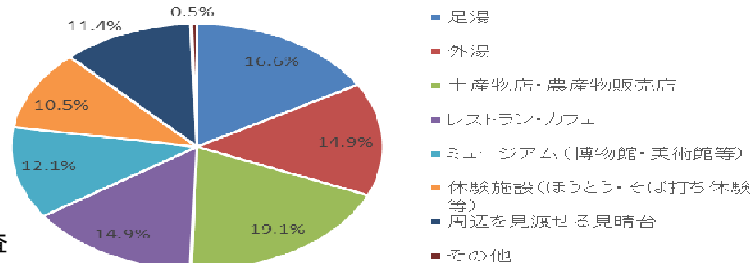
①観光客及び市民等のニーズの把握・現地状況調査

商業施設やマルシェ、公園、緑地を望む声が多く、外国人は体験型施設、空間整備に対するニーズが高い。現地状況調査では、幅員の狭い道路が多く観光バス等に支障を与えている。

②河川利活用調査 ③アクセス道路検討調査

- ・地域の特産品を楽しめるエリア
- ・用水浴いを散策できる遊歩道と一体整備

石和・春日居温泉地域における施設整備に対する意向（WEB調査）



温泉街の魅力の向上、新たな観光資源の創出を図り、イベントの場等としての利用を通じて賑わいを創出する。

近津用水のイルミネーション実施イメージ



（調査の手順）

1. 調査計画の立案

3. 河川及び温泉利活用等マーケティング・整備効果検討調査

- ・先進事例調査
- ・マーケティング施策検討
- ・笛吹川、近津用水、その他地域資源を活用した整備効果検討（ミズベリングプロジェクトにも着目）

2. 観光客（外国人含む）及び市民等のニーズの把握・現地の状況調査

- ・民間事業者による誘客施設・公園整備等に対するニーズ調査（1,000 サンプル以上）
- ・いさわ鶴飼の活用策 等

4. アクセス道路・公園整備概略検討調査（基盤整備）

- ・アクセス道路・街路等に係る調査・検討（広域来訪者及び温泉街周辺に着目し調査・検討）
- ・未整備地における空間整備概略検討
- ・概算工事費の算出

調査結果とりまとめ

基盤整備の見込み・方向性

アクセス道路整備については、現状の課題や実現の難易、未整備地の利活用と合せた課題解決の可能性等を総合的に勘案し、基盤整備として①労働橋架け替え、②未整備地東側道路の拡幅、③未整備地内における接続道路整備を行い、課題の解消を図ることが有効であると判断した。基盤整備の時期については、未整備地の利活用を含め、東京オリンピックによる観光客増を見込み、平成27年度から概算設計を行い～平成29年度中の完成及び供用開始を目標に定めた。

今後の課題

マーケティング施策

○民間事業者の参画の見通し等を踏まえた施設整備、運営体制等について具体化していく。

○アクセス道路検討

現状の道路交通への影響等を考慮し、詳細検討を行う

○未整備地利活用

付加価値を与える工夫（魅力付け）が必要である。

笛吹市ミスベリング構想

笛吹市ミスベリング構想コンセプト

水辺とまちの賑わいをデザインし、「つくる」だけでなく「育てる」ことを意識した創造を推進する。

・水辺を楽しむ人、水辺で街を変える人、水辺で新しいビジネスを作る人

これらを増やすためのひとつづくりや仕組み作りが重要であり、産官学の関係者と連携して実施していく。



駅前イルミネーション



ミスベリングツタムイ
流域をツアードで繋いで地域全体の活性化を目指す



笛吹川鵜飼
現在唯一の徒歩鵜飼伝承

石和温泉駅

労働橋架替

・足湯カフェ
・マルシェetc

・誘客拠点施設
・直売所etc

花のミスベ公園
(仮称)

アクセス
道路拡張

笛吹市役所

労働橋

・鵜飼の見学施設で鵜飼いの実演！
・子どもの川流れ体験、水辺の楽校
連携で鵜飼いの伝承（直轄整備）

近津用水の「ミスベリング」
・ポートで川下り
・川床（かわどこ）で夏の夕涼み
・真冬の川のイルミネーション
etc...

温泉ホテル街

近津用水

温泉ホテル街

笛吹川

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋

労働橋



ゴムボート川下り
子供向けの川下りを体験。ゴールで親が待ってるよ。



川床(かわどこ)
日本一長い川床になるかも



川のイルミネーション
川の流れが創り出す光の造形を楽しもう！



石和温泉花火大会



親水護岸・オープンカフェ
親水護岸の多様な使い方

0 100 200 500m

笛吹市

石和温泉駅

石和温泉駅・駅前通り
イルミネーション



イルミネーション

足湯カフェ・マル
シェなど

労働橋架替

アクセス道路拡張

誘客拠点施設
・桃・ぶどう直売所
・キャラクターショップ
など...

駐車場

バス

近津用水桜並木イルミネーション・
川床・ポートで川くだり

温泉街



川床(かわどこ)

温泉街

既存NTT構造物